

内閣参質二一七第一一五号

令和七年五月十三日

内閣総理大臣 石破 茂

参議院議長 関口 昌一 殿

参議院議員齊藤健一郎君提出マイナンバーカードの券面デザインに関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員齊藤健一郎君提出マイナンバーカードの券面デザインに関する質問に対する答弁書

一及び二について

御指摘の「次期カード」の「券面デザイン」については、デジタル庁が主催し有識者等から構成される「次期個人番号カードタスクフォース」が令和六年三月十八日に取りまとめた「次期個人番号カードタスクフォース最終とりまとめ」（以下「最終とりまとめ」という。）において「券面記載事項等の変更と合わせて、偽造防止対策、ユニバーサルデザイン対応、視覚障害者への配慮等（カードのおもて裏識別対応など）を踏まえ、券面デザインの見直しを行う。特に、大きさをはじめ、文字の読みやすさに配慮するとともに、誰もが持ちたくなる魅力的なデザインを実現する。」としていることを踏まえ、御指摘の「券面上書き印刷部分」の在り方を含め、現在、同庁において検討しているところである。

三について

お尋ねの「専門性の乏しい意見により完成度が損なわれること」、「人材の関与を強化する」及び「デザイン等に関するガバナンスの強化」の意味するところが必ずしも明らかではないが、デジタル庁においては、御指摘の「次期カード」の「券面デザイン」等の検討については、デザイン等に関する専門的な知

識等を有する同庁の職員を参画させ、進めているところであり、お尋ねの「国民からの券面デザインの公募」については、現時点において予定していない。

四について

お尋ねの「マイナンバーカードのデザインに対する社会的評価や実使用上の印象」の意味するところが必ずしも明らかではないが、いずれにせよ、御指摘の「次期カード」の「券面デザイン」等の検討については、最終とりまとめにおいて「券面記載事項等の変更と合わせて、偽造防止対策、ユニバーサルデザイン対応、視覚障害者への配慮等（カードのおもて裏識別対応など）を踏まえ、券面デザインの見直しを行う。特に、大きさはじめ、文字の読みやすさに配慮するとともに、誰もが持ちたくなる魅力的なデザインを実現する。」としていることに十分留意しつつ、関係機関等の意見を聴きながら対応することとしている。